



明けましておめでとうございます。

皆様には、寿ぎの新しい年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年の出来事を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に尽きるのではないのでしょうか。昨年1月15日に国内で、3月7日に福島県内でそれぞれ初めての陽性患者が確認されて以降、連日新型コロナウイルスに関する報道で、不安な日々をお過ごしになられた方も多かったと思います。町内では、新しい生活様式の徹底・継続により、大規模な感染拡大には至っていませんが、引き続き感染防止対策の取り組みをお願いいたします。

今年も東日本大震災、そして福島原発事故から10年となる節目の年です。これまでの価値観や永遠に続くと思われた平穏な日常があった。あれからの10年、国見町は町民と議会と行政が一体となり、「ピンチをチャンスに変える」との強い思

新年おめでとうござい

皆様には、夢と希望にあふれた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大にはじまり全世界で蔓延し、人類がこれまで経験したことのないような緊急非常事態となっており、町が主催しているイベントや会合などはことごとく中止とせざるを得ませんでした。当然経済活動も停滞し、さまざまな分野で大変な打撃を受けております。一日でも早く収束し、私たちの普段の日常生活が送れるようになることを願わずにはおられません。

国見町では2期8年間にわたり町政の舵取りを務められた太田久雄町長が勇退されました。東日本大震災と東京電力福島第一原発事故による除染対策事業にいち早く取り組むとともに、復興のシンボルとしての役場庁舎の建設、そして交流連携の核となる道の駅国見

いで、復旧・復興・再生を進めてきました。平成27年5月に新庁舎が開庁、平成27年10月に住宅除染が完了、そして平成29年5月に道の駅国見あつかしの郷が開業しました。さらに、本年3月には仮置場に保管される除去土壌などの撤去・搬出が完了する予定で、国見町は未曾有の大災害からの復旧・復興とともに、新たなまちづくりに向け、確実に歩みを進めています。

私が基本理念とする「命を大切に、誰もが幸せに暮らせる国見町」の創造に向け、町民の皆様との対話を重視していくこととします。率先して地域に出て、皆様の声に耳を傾け、多くの皆様と連携して行動し、町民と議会と行政の共感の上にまちづくりを進めていきます。小さな声や声を発することをあきらめてしまっている方の、心の中にこそ、幸せな国見町の創造の真髄、核の部分があるのかもしれない。そういった方々の思いを大切にしながら、気づき、共に考え、行動し、

あつかしの郷の整備などスピード感のある町政運営に對し敬意を表します。

そして、昨年11月の国見町長選挙で多くの町民の支持を得て新しく引地真町長が誕生いたしました。引地新町長には、広く町民の声を聞かれまして、高所大局的な視野に立って、町職員時代の経験を活かし、大いに行政手腕を発揮していただきたいと思っております。多くの町民も期待をしております。

また、町議会におきましても、同日に執行されました町議会議員補欠選挙で新たに4人の議員が加わりました。これまでの経験と知識を活かし、町民の多様化したニーズに耳を傾け、これまで以上の自由闊達な議論が展開されることを期待するものであります。

首長と同様に住民から直接選ばれる議会は、執行機関の行財政の運営を監視チェックする機能を有する一方で、提案された条例予算などを審議し、最終的に意思決定する機関でもありま



国見町長 引地 真

掲げた目標を一緒に達成していきたいと思えます。

国見町をもっと良くしたいと思う気持ち、すべての人に幸あれかしと願う気持ちを大事にしてまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって、幸せの光が降りそそぐ素晴らしい年になるよう心よりお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうござい

町商工会を代表いたしまして、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えられることと、心よりお喜びを申し上げます。また、日頃より当商工会の各種事業に對しまして、ご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、「新型コロナウイルス感染症」により、「ヒト・モノ・カネ」の動きが全世界で滞り、現在も様々な方面で影響を及ぼしています。今年の干支は、辛丑（かのと・うし）です。「辛」は植物では変化が生まれ、新たな生命がぎざし始める状態。「丑」は発芽直前の命の息吹を表しています。「辛」と「丑」は、相手の力を生かし強め合う関係です。穏やかな衰退、痛みを伴う幕引きと、新たな息吹が互いを生かし合い、強め合うことを意味し、大きな希望が芽生える年になることを示しています。

当商工会も、地域の経済と商工業の活性化を実現するために、地域住民はもとより、町や地域の様々な関係先と情報を共有し、広範な連携を図りながら、事業者の積極的な支援や各事業所の活性化、ひいては地域が元気になるために従来の殻を破り、何か新しい方策を模索してまいりますので、より一層のご協力をいただきたいと思います。

結びに、皆様のご繁栄とご多幸、ご健勝を心よりご祈念申し上げます、ごあいさつといたします。



国見町商工会長 渡辺 勝弘

皆様におかれましては、

想いも気持ちも新たな中で新年をお迎えになられたものと謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの困難に見舞われました。インバウンドの大幅な需要減少やイベント等の自粛・中止が相次ぎ、農畜産物についても時期や品目によって販売価格に大きく影響がありました。また、主力農産物である「モモ」の生産は、穿孔細菌病による今までに経験のない早生種からの甚大な被害で、出荷量についても例年の50%程度と大きく激減しましたが、国見町から管内生産農家に対する多大なご支援を賜り心から厚く御礼申し上げます。

さて、今年も辛丑年であり、牛は古くから農作業にとって欠かせない動物で、重労働の農作業を最後まで助けてくれる働きぶりから「これから発展する前触れ（芽が出る）」になると言われております。丑年にあやかり災害のない実り

豊かな年になりますように願っております。当組合は地域の皆様のご支援・ご協力により合併して5年が過ぎようとしています。経営理念である「未来への心をつなぐパートナー」を、農をはぐくみ地域をつなぐ「を合言葉に」持続可能な農業生産の確立を目指し「地域農業振興」を第一に「地域社会の活性化」に貢献し、農と地域の未来を繋いでまいります。

結びに、本年が地域の皆様方にとって辛多き年となりますようご祈念申し上げます。



未来農業協同組合 代表理事組合長 数又 清市